

お客様各位

カタログ等資料中の旧社名の扱いについて

2010年4月1日を以ってNECエレクトロニクス株式会社及び株式会社ルネサステクノロジが合併し、両社の全ての事業が当社に承継されております。従いまして、本資料中には旧社名での表記が残っておりますが、当社の資料として有効ですので、ご理解の程宜しくお願ひ申し上げます。

ルネサスエレクトロニクス ホームページ (<http://www.renesas.com>)

2010年4月1日

ルネサスエレクトロニクス株式会社

【発行】ルネサスエレクトロニクス株式会社 (<http://www.renesas.com>)

【問い合わせ先】 <http://japan.renesas.com/inquiry>

RENESAS TECHNICAL UPDATE

〒100-0004 東京都千代田区大手町 2-6-2 日本ビル
 株式会社 ルネサス テクノロジ
 問合せ窓口 <http://japan.renesas.com/inquiry>
 E-mail: csc@renesas.com

製品分類	MPU & MCU	発行番号	TN-16C-A130B/J	Rev.	第1版
題名	RENESAS TECHNICAL UPDATE 「TN-16C-130A/JA」の差し替え M16C ファミリ シリアルインタフェース UART 特殊モード1 (I2C モード)の注意事項		情報分類	技術情報	
適用製品	M16C ファミリ	対象ロット等	関連資料		

RENESAS TECHNICAL UPDATE 「TN-16C-130A/JA」の「対策例」に誤記がありましたので訂正します。

訂正内容 <対策例>3行目

訂正前 UiSMR = 0x02; //

訂正後 UiMR = 0x02; //

訂正後の内容を下に示します。

1. 注意事項

UiSMR4レジスタ(注1)のSTSPSELビットを“0”にした後、転送クロックの半サイクル以内に各コンディション生成ビット(STAREQ、RSTAREQ、STPREQ)を“0”から“1”にすると、各コンディションが正しく生成できない場合があります。

注1. iはマイコングループごとに違います。ご使用のマイコンハードウェアマニュアルを参照してください。

2. 対策

各コンディション生成で、UiSMR4レジスタのSTSPSELビットを“0”にし、転送クロックの半サイクル以上を待った後、各コンディション生成ビット(STAREQ、RSTAREQ、STPREQ)を“0”から“1”にしてください。

<対策例>

XIN=16MHz、メインクロック分周なしモード、UARTiのBRGカウントソース=f1の場合

UiSMR4 = 0x70; // STSPSELビットを"0"にする

UiMR = 0x02; // ←訂正箇所

UiBRG = 0; // BRG最速値設定により待ち時間を最短とする

UiSMR2 = 0x03; // この命令の実行には転送クロックの半クロック(62.5ns)以上かかる

UiBRG = _IIC_BAUDRATE_100K; // BRG設定を目的の転送レートに戻す

UiSMR4 = 0x71; // STAREQ ビットを"1"にする

UiSMR4 = 0x09; // STSPSELビットを"1"にする

以上